令和8年度 城南小学校経営方針

1 学校教育目標

2 自ら考え、心豊かに生きる子どもの育成　～かしこく　やさしく　たくましく～

・かしこく　・・・ 自分の考えをもち、学びを深めていく子　<知>
・やさしく　・・・ 自他の生命を大切にし、互いの思いを受けとめられる子 <徳>
・たくましく ・・・ 心身共に健康で、ねばり強く取り組む子 <体>

3 めざす学校の姿

・子どもたち一人ひとりが認められ安心を感じられる、笑顔あふれる学校
・家庭や地域と一体となった、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）

4 めざす教職員の姿

・子どもに寄り添い、一人ひとりの力を伸ばす教職員
・研究・研修に主体的に取り組み、指導力の向上に努める教職員
・同僚と力を合わせ、チームの一員として協力協働できる教職員

5 学校経営の重点

（1）学校目標の具体化と計画的実践を図る。
（2）学校評価を実施し、学校経営・教育活動の評価・改善を図る。
（3）教職員一人ひとりが自己目標設定と振り返りを行い、目的意識を持って実践を行う。
（4）チームで課題に取り組む職場、生徒指導を中心とした情報の共有と同僚性の確立
（5）不登校児童対応、外国人児童対応、特別支援教育の推進
（4）保護者・地域とのパートナーシップの確立を図る。
（5）在校時間の長時間化を防ぐ取組を行い、職場環境の改善（働きやすさ）を図る。
・定時退校日を週１日設定。設定した日の定時に退校できる職員の割合85%を目指す。
・会議資料のデータ化を図り協議内容を絞ることで１時間以内に終了する会議の割合80%を目指す。
・月45時間を超える時間外在校等時間者の延べ人数0人、年間360時間を超える時間外在校等時間者数0人を目指す。1人当たりの月平均時間外在校等時間月30時間以下を目指す。
・1人当たりの年間休暇取得日数 20 日以上を目指す。

6 指導の重点

（1）確かな学力と主体的に学ぶ態度の育成　かしこさ<知>
・基礎基本を大切にした教材研究・単元構想からめあて・課題を設定し、子どもの自力解決場面を増やす。
・話す・聞く力の向上を目指し、ペアやグループでの聴き合い、学び合う楽しさを実感できる授業を行う。
・学習の「めあて」と「振り返り」を大切にし、個々の学びが実感できる授業づくりを進める。
・学校全体で学習環境を整えるとともに指導内容を共有して実践を積み重ね、基礎基本の力の向上を図る。
・家庭学習習慣の確立、家庭学習の充実を図る。
（2）思いを受けとめる心と豊かな情操の育成 やさしさ<徳>
・「ありがとう」と感謝の気持ちや「ごめんなさい」が言える素直さの重視。
・命を大切にし、自尊感情を育てる人権教育（全教科・全領域）の充実を図る。
・思いを受けとめ、異なる意見や立場を認め合える集団を育てる（仲間づくり）。
・読書活動の充実・継続（言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするための基盤づくり）
（3）望ましい生活態度とたくましい心身の育成　たくましさ<体>
・いつでもだれにでも、気持ちのよいあいさつができる子どもを育てる。（あいさつ運動）
・基本的な生活習慣の確立を図るため、生活リズムチェックの取り組みを進める。（学期初め）
・サーキットトレーニング等を通して基礎体力の向上を図る。（体育の時間）
・社会性の向上・ポジティブ支援をふまえたソーシャルスキルトレーニングの活用。

7 令和8年度の重点

（1）「子ども」を大切にする　…「子どもが主役」になる学校
（2）「授業」を大切にする　…「授業づくり」を柱とした子どもの力を育む学校
（3）「職場」を大切にする　… 同僚性を大切にし、全職員がチームとなって協力協働できる学校